

文化財石垣保存技術協議会会報

平成27年(2015) 第14号 ー平成27年度事業報告ー

第1回技能者養成研修(実技)

日時 平成27年7月17日(金)～20日(月・祝)

場所 天和採石場(兵庫県赤穂市)

受講者 技能会員7名、技術・研究会員3名、一般会員3名、賛助会員1名、入会申請中3名

講師 菊井知紀、上月保道、西川禎亮、水野賀道
和田行雄



焼き入れ研修状況



石材加工研修状況



石積み研修状況

会員の声

奥山 聖治(技能会員): 技能者養成研修(実施研修)

感想: 2015(H27) 赤穂

今回の研修は、昨年、一昨年、一昨年の伊豆に続いて私にとっては3回目の受講となった。何れの実施研修も、鍛冶・石割・石積の3つの作業についての技術向上を目的として組まれたものだと理解している。私自身の経験上石を積むには、「思ったように石を割れないといけない」と思っているし、「思ったように石を割る」ためには「適切な道具が作れないといけない」と思っている、実施研修の主旨には全く賛同するものである。

又各研修地の丁場によつての石質の違いが興味深く、勉強になる。色々な石質の石に触る事自体が喜びでもある。

石積み作業については、いったいどんな石垣を目指しているのか? 各人の認識が統一されていなかった感があるので、作業前にポイントを押さえておくべきだったと思う。「〇〇城のどこの石垣」といった風に、写真等も活用して、各自がイメージを持って作業にあたることが出来れば、周辺の石垣と調子を合わせた石積みをする時などに有効なのではないだろうか。



石積み研修状況

後藤 慶太 (技能会員) : 技能者養成研修 (実施研修)

感想 : 2015 (H27) 赤穂

今回技能者養成研修に参加して、実務での石積は野面石の顔 (正面) の選定基準、なるべく控えは長く石を使い強度を常に考える。正面を重視する造園的な積み方との違いなど、石材の使い方を十分に勉強することが出来ました。又、背面で石を支える飼い石等の使い方、パールの使い方など細い点でも指導して頂き、今後石積み作業を行う時には教えられた点を生かしたいと思います。

道具の手入れ、焼き入れ作業の実務では鉄がいかにか焼き入れを行うと強度を損なわないで、自在に形を作ることが可能なのか、焼き入れの時間、タイミング等を詳しく説明して頂き、この作業はなかなか個人が勉強しようとしても実務での講習又は指導が無いととても難しいと感じました。この作業は一回や二回の経験ではとても習得できる作業ではないと思いますので、こういう研修会があれば是非参加して再度経験できればと思いました。以上石積と道具の焼き入れ作業を経験させて頂き大変勉強になりました。今後も研修で学んだ技術を現場で生かして行きたいと思います。

◇平成27年度総会が開催されました

日時 平成27年7月20日 (月・祝)

場所 日本城郭研究センター大会議室 (兵庫県姫路市)

出席 評議員7名、技能会員27名、技術・研究会
員19名、一般会員5名、賛助会員2名、事務局2名

来賓 五島昌也 文化庁記念物課文化財調査官

山下史朗 兵庫県教育委員会文化財課副課長
兼文化財班長

八木 優 姫路市教育委員会教育次長

記念講演 「石垣整備のてびき」の意義と今後
本中 眞

文化庁世界文化遺産アドバイザー

※肩書きは当時



来賓挨拶 五島昌也 氏 (文化庁記念物課)



来賓挨拶 山下 史朗 氏 (兵庫県教育委員会文化財課)



来賓挨拶 八木 優 氏 (姫路市教育委員会)



記念講演 本中 眞 氏 (文化庁)

- 主な議事 (1) 平成 26 年度事業報告
 (2) 平成 26 年度決算報告
 (3) 平成 26 年度監査報告
 (4) 平成 27 年度事業計画
 (5) 平成 27 年度予算案
 (6) 平成 26 年度研修修了証書授与

証書授与者

1. 後継者育成研修 (2 名)

臼井 智也	(有)川本造園
服部 敏則	アオノ産資(株)

2. 技能者養成研修 (10 名)

奥山 聖治	橘造園
河本 浩次	河本石材
鈴木 徹	協和建設工業(株)
周藤 昌宏	松浦造園(株)
花崎 吉宏	花崎建設(株)
藤本 昇	藤本石工
松浦 隆介	松浦造園(株)
水野 賀道	水野土木
山内 裕貴	水野土木
和田 宇司	和田石材建設(株)



総会の様子

『伝統の技体験フェア』展示参加(文化庁主催)

日 時 平成 27 年 9 月 12 日 (土)・13 日 (日)

場 所 大社文化プレイスうらら館 (島根県出雲市)

参加者 技能会員 1 名 (事務局 1 名)

内 容 会の活動報告 (パネル展示)、石工道具の展示



技能者研修修了者証授与式



展示状況



総会の様子



展示状況

■事務局からのお知らせ

本会の受領図書一覧です。閲覧のみ可能です。

書 名	発行日	編 集	発 行
公益財団法人 文化財建造物保存技術協会協年報 2013 年度	2014 年 10 月		公益財団法人文化財建造物保存技術協会
平成 25 年度 日本うろし掻き技術保存会伝承者養成事業 研修報告書	2014 年 3 月	日本うろし掻き技術保存会	日本うろし掻き技術保存会
「木をつくり漆を掻く」 ～鈴木健司の技～	2014 年 3 月		日本うろし掻き技術保存会
阿波藍だより 平成 26 年 3 月	2014 年 3 月	阿波藍製造技術保存会	阿波藍製造技術保存会
賀茂御祖神社摂社河合神社東西透塀修理工事報告書	2014 年 3 月	一般財団法人 建築研究協会	宗教法人 賀茂御祖神社
名勝 對龍山莊庭園 庭園内建物保存修理工事報告書	2013 年 3 月	財団法人 京都伝統建築技術協会	株式会社 ニトリホールディングス
名勝 金剛輪寺明壽院庭園保存修理工事報告書	2014 年 3 月	一般財団法人 建築研究協会	宗教法人 明壽院
文化財建造物の保存修理を考える 第 1 回シンポジウム 「保存修理の理念とあり方」の記録	2014 年 10 月	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会
無形文化財 民俗文化財 文化財保存技術 指定等一覧	2014 年 3 月	文化庁文化財部伝統文化課	文化庁文化財部伝統文化課
日本の技体験フェア ふれてみよう！ 文化財を守り続けてきた匠の技 報告書	2013 年	文化庁文化財部伝統文化課	文化庁文化財部伝統文化課
平成 25 年度 国宝修理装飾師連盟第 19 回定期研修会報告集	2014 年	一般社団法人 国宝修理装飾師連盟	一般社団法人 国宝修理装飾師連盟
第 5 回 東アジア紙文化財保存修理シンポジウム	2014 年 3 月	独立行政法人 国立文化財機構 九州国立博物館	独立行政法人 国立文化財機構 九州国立博物館

2009 年第 2 回研修会の資料集を販売しております。

【申込方法】資料代金 1000 円は現金または郵便定額小為替、送料(金額要確認)は切手で、郵送(現金の場合は現金書留)で事務局に申し込んで下さい。詳細は、姫路市立城郭研究室ホームページ(<http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/index.html>)にも掲載しております。

■新規加入会員紹介(平成 27 年 7 月 20 日役員会審査)

会員区分	氏 名	所 属
技能会員	石川真之介	タナカ石材㈱
技能会員	杉本 弘幸	橋造園
技能会員	持田 智彦	庭乃持田園有
技術・研究会員	浅倉 充年	高木建設㈱
技術・研究会員	笠原 俊男	佐野コンサルタンツ㈱
技術・研究会員	蟹江 重行	蟹江石材商店
技術・研究会員	高橋 一	㈱大林組
一般会員	浅川 景司	(有)浅川石材
一般会員	小野 貴義	(有)小野石材
一般会員	山口 隆徳	㈱山口石材

■事務局・広報担当からのお願い

○研修会などの参加感想や、文化財石垣について日頃疑問に思っていることなどありましたら下記事務局ま

で書面にてお知らせください。

○各地の文化財石垣情報、書籍、刊行物の発行がありましたら情報提供ください。

■入会手続き

入会をご希望の方は、まず事務局にご連絡ください。当協議会の入会申込書を送付いたしますので、必要事項を記入のうえ、下記の事務局へご返送ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費(4月～翌3月)をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成 27 年 11 月 30 日現在)

技能会員	133 名
技術・研究会員	82 名
一般会員	29 名
賛助会員	17 名
評議員	9 名
合 計	270 名

発行年月日 平成 27 (2015) 年 11 月 30 日

編集・発行 文化財石垣保存技術協議会

事務局住所 〒670-0012 姫路市本町 68-258

日本城郭研究センター内

TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890